保健・医療・福祉の充実、子育て、移住定住、防災・減災 etc…

生きがいや安心を感じられるまちに

人口減少や少子高齢化が進む中、未来を見据えどんなまちづくりを進めていくのか―。
平成31年度のまちの予算について紹介します。

CHECK どんなまちづくりを目指す？ ― 平成31年度当初予算編成方針 ―

日野町では、現在、さまざまな課題に直面しています。特に、町の人口は減少を続け、今年1月に鳥取県が発表した人口推計では、ついに3,000人を割り込んでいる状況です。町が進めている「きらり日野町創生戦略」で掲げた基本の目標の一つ「移住者数」においても、平成29年度末時点で目標を上回っているにもかかわらず、人口の減少に歯止めをかけることができません。

そんな中でも、人と人とのつながりを大切にし、生きがいや安心を感じることができるまちづくりが求められます。そのため、重要課題として、「保健、医療、福祉の充実」「地域資源を活かした産業振興」「教育・子育ての充実」の実現に加え、昨今の自然災害を大きな教訓として、「防災・減災」対策にも取り組んでいきます。

町民の皆さんが住んでよかったと思えるまち、将来を担う子どもたちが誇りを持って引き継げるまちづくりを積極的に進めていきます。

CHECK 一般会計予算総額は31億8,867万2千円（前年度比10.4%増）

一般会計

1 POINT 限られた収入の中で、まちの特色をどう生かすか

歳入全体を詳しく見ていくと、

・町自らの手で得られる「自主財源」は、主に町民税や固定資産税、軽自動車税などの町税や使用料などで、約6億6,372万円（20.8%）

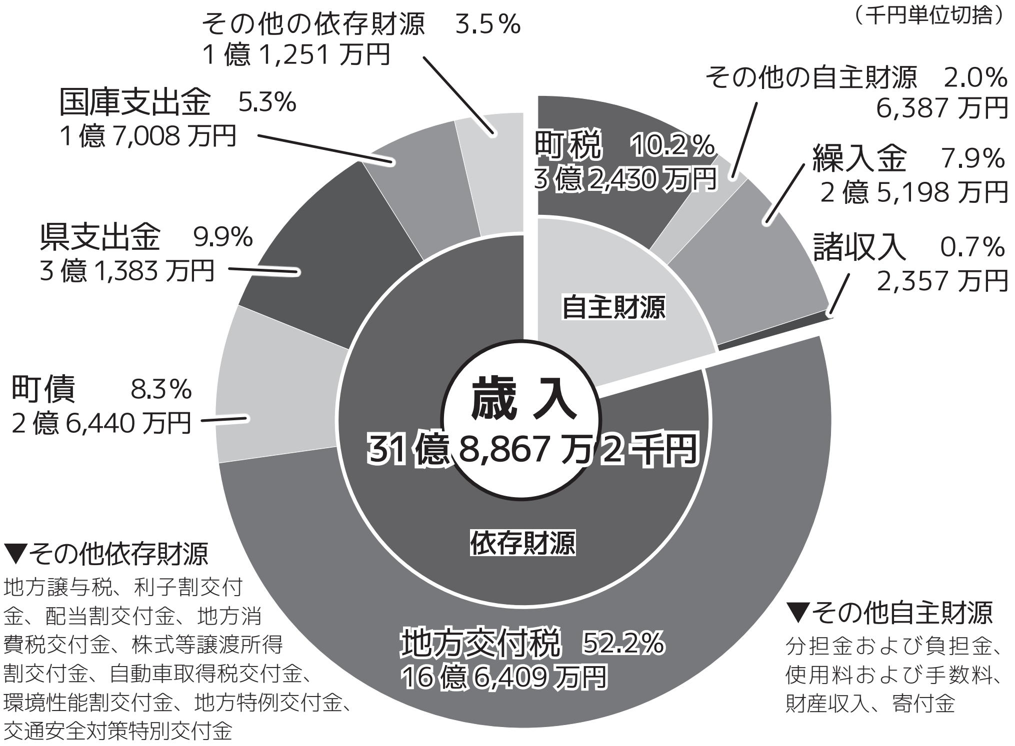
・地方譲与税には、平成31年度から新たに創設された森林環境譲与税（1,170万円）が含まれます。これは、森林整備などに活用されます。

・地方交付税などの国や県に依存する「依存財源」は、約25億2,492万5千円（79.2%）。特に、国から交付される地方交付税は歳入の約52.2%と大きな割合を占めています。

今年度は、町営バス車両の購入や公共施設の整備として各基金から繰り入れるほか、防災・減災対策として緊急防災・減災事業債（町債前年度比15.5%増）の発行を予定しています。

骨格予算だった平成30年度当初予算と比べ歳入総額は増加していますが、歳入の大半を占める普通交付税の増額は見込まれない状況であり、厳しい状況に変わりはありません。財政の健全化、そして限られた予算の中で、町の特色を生かしたまちづくりが求められています。

（千円単位切捨）



●**自主財源**
6億6,372万円（20.8%）

●**依存財源**
25億2,491万円（79.2%）

2 POINT 地方創生の実現へ。さらに一歩踏み込んだまちづくりを

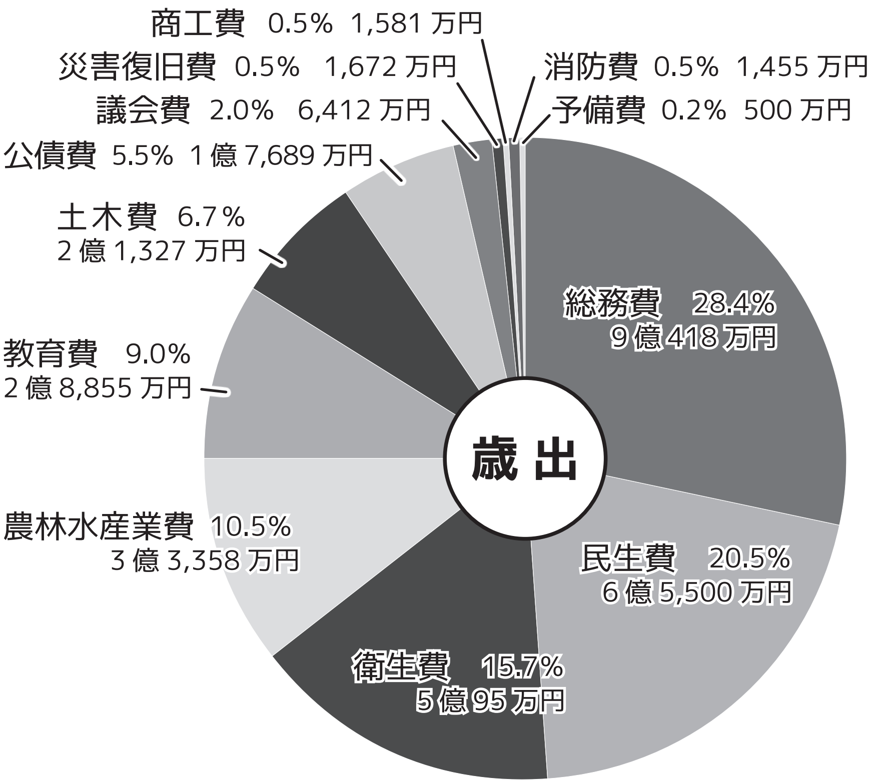
平成31年度は、平成27年10月に策定した「きらり日野町創生戦略」の仕上げの年にあたります。日野町における地方創生の実現を目指し、さらに一歩踏み込んだ施策を展開していきます。

・歳出全体に占める割合でみると、一番大きな割合を占めるのが、庁舎管理や防災、移住定住・空き家対策などの総務費で、約9億418万円（28.4％）。今年度は、防災・減災対策として、防災基地の整備を行うほか、空き家対策として、新たに空き家借り上げ・活用事業に取り組みます。

・障がい者や高齢者の自立支援および保育所、福祉事務所の運営などに使われる民生費は、約6億5,500万円（20.5％）。今年度は、産後の育児不安の軽減を図るため、新たに産後ケア事業に取り組みます。

・そのほか、地域資源を生かした産業振興、観光振興、教育・子育てなどの充実を図ります。

一般会計歳出総額　31億8,867万2千円



CHECK 国民健康保険、介護保険、水道etc…。特定の目的を持った会計

☑ 特別会計

科　　目	本年度当初	前年度比
国民健康保険	3億5,046万円	△6.6%
介護保険	6億9,705万円	3.8%
後期高齢者医療保険	5,438万円	△2.4%
簡易水道	7,188万円	△24.2%
公共下水道事業	1億8,379万円	△19.1%
農業集落排水事業	3,924万円	△2.3%
合　　計	13億9,680万円	△4.6%

3 CHECK 保険会計の繰り出し金は年々増加傾向

町の予算には、一般会計とは別に運営される6つの特別会計があり、当初予算の総額は13億9,680万円（前年比4.6%減）です。

それぞれの特別会計を見ていくと、

・国民健康保険　…　被保険者数および一人あたりの医療費は減少を続け減額見込みです。

・介護保険　…　居宅介護サービス、施設介護サービスで給付費の増加を見込んでいます。

・簡易水道　…　洪水時の濁流の侵入を防止するため、根雨地区簡易水道浄水場取水ピット改良工事を行います。

・公共下水道　…　今年度は、中央浄化センターの設備更新を行い、公共下水道施設の長寿命化を図ります。

特別会計は、収支のバランスを取るため、一般会計からたくさんのお金を繰り出しています。今年度は、2億4,782万7千円（前年度比3.9%増）。町では、この繰り出し金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進を行っています。このほか、介護予防や健康づくりによる医療費抑制に取り組んでいますので、ご協力ください。